□平成 30 年度 事務事業評価（平成29年度実施事業事後評価）シート ／ 平成 31 年度 実施計画調書 （□新規 ☑拡充 □縮小 □休止・廃止 □現状維持 ）

1 事務事業の基本情報

☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は，代表的なものを1つ記入してください。また，該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合，代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	農業総務費			補助区分	☑国補 □県補 □市単	終期	□決まっている （平成 年度まで） ☑決まっていない			予算科目	区分	一般会計		款	6	項	1	目	2	事業	2
担当部	経済環境部	担当課	農政課	担当係	農政	係	作成者	田中 佑一	内線（電話番号）	2310	シート作成日	H30.5.30	部長決裁日	H30.10.24							

位置付けられている計画等	☑じょうそう未来創生プラン前期基本計画	□市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」	
	☑常総市復興計画	□市民等からの要望	
	☑常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略	□その他の計画 （ 名称 ： ）	
根拠法令及び市条例等	□国の定める法律 （ 名称 ： ）		
	□国・県からの通達等 （ 名称 ： ）		
	□市の条令・要綱・規則等 （ 名称 ： ）		

2 事務事業の目的

☞ 当該事業を実施することで，①「望ましい状態」とはどのような状態か？→ ②一方で，「現状や課題」はどうなのか？→ ③そのためには何をするべきか？ という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	農業者の高齢化，廃業等により農業者の減少が続き，今後ますます生産力が低下することが懸念され，今後の農業発展のためには担い手農家を支援し経営規模の拡大を図るとともに，新たな担い手となるべく新規就農者の育成が必須である。
誰・何を対象に	担い手農家，今後担い手になる見込みのある新規就農者
どのような方法・手順で	・就農前の研修期間の生活安定や就農直後の経営確立を支援する資金を交付することで新規就農者の就農定着を推進する。 ・担い手農家が機械導入する際に補助金を交付することで経営規模拡大を支援する。
望ましい状態	補助事業を利用して新規就農した農家が，今後の農業を支える担い手農家として定着することで生産力向上につなげる。

3 事務事業の主たる成果指標

☞ 数値目標（定量）の設定が困難な場合は，文言目標（定性）でも結構です。なお，指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが，この場合，設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。

指標名	新規就農者数	単位	人	目標値	5	目標年次	平成	毎	年度	指標及び目標値設定の考え方（又は指標・目標値を設定できない場合の理由）	毎年5人新規就農者を増やす。

4 事務事業の実績 Ⓓ

☞ 当該事業の予算を使って，『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお，業務が12個以上ある場合，代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	業務名	活動量	業務名	活動量	業務名	活動量
事務事業を構成する主な業務	① 農振協議会委員謝礼		① 農振協議会委員謝礼		① 農振協議会委員謝礼	
	② 新採貸与品費		② 講演会講師謝礼		② 次世代農業研究会委員謝礼	
	③ 結城農業改良推進協議会負担金		③ 結城農業改良推進協議会負担金		③ 講演会講師謝礼	
	④ 常総地域農業振興協議会負担金		④ 常総地域農業振興協議会負担金		④ 結城農業改良推進協議会負担金	
	⑤ 車検		⑤		⑤ 常総地域農業振興協議会負担金	
	⑥		⑥		⑥ 車検	
	⑦		⑦		⑦	
	⑧		⑧		⑧	
	⑨		⑨		⑨	
	⑩		⑩		⑩	
	⑪		⑪		⑪	
	⑫		⑫		⑫	
	目標値に対する実績値	2 人	目標値に対する実績値	2 人	目標値に対する実績値	3 人
決算額	計 1,155,712 円	内訳 特定財源 円	計 987,091 円	内訳 特定財源 円	計 1,369,452 円	内訳 特定財源 円
		一般財源 1,155,712 円		一般財源 987,091 円		一般財源 1,369,452 円
	（住民一人あたりの行政コスト）	19 円	（住民一人あたりの行政コスト）	16 円	（住民一人あたりの行政コスト）	23 円

7 実施計画 Ⓟ

☞ 今後3年間の事業内容について，どのようなことを実施していくつもりなのか，具体的に記入してください。なお，予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	農振協議会委員謝礼 次世代農業研究会委員謝礼 あすなろの里在り方検討委員会委員謝礼 旅費 需用費 自動車法定点検料 結城農業改良推進協議会負担金 常総地域農業振興協議会負担金	農振協議会委員謝礼 次世代農業研究会委員謝礼 旅費 需用費 備品購入費（自動車）1792 結城農業改良推進協議会負担金 〇農業振興事業費（06-01-03-01）に項目変更予定 常総地域農業振興協議会負担金 県西地方地域農政推進研究会負担金 31年度より農業振興事業費（06-01-03-01）より項目変更予定 経営体育成支援事業 18,000,000 農業次世代人材投資12,750,000 農業経営基盤強化資金利子補給金 800,000 担い手確保・経営強化支援事業（補正対応） 指導農業士等謝礼120,000 新規就農者研修委託料190,000	農振協議会委員謝礼 次世代農業研究会委員謝礼 旅費 需用費 結城農業改良推進協議会負担金 〇農業振興事業費（06-01-03-01）に項目変更予定 常総地域農業振興協議会負担金 県西地方地域農政推進研究会負担金 31年度より農業振興事業費（06-01-03-01）より項目変更予定 経営体育成支援事業 18,000,000 農業次世代人材投資12,750,000 農業経営基盤強化資金利子補給金 800,000 担い手確保・経営強化支援事業（補正対応） 指導農業士等謝礼120,000 新規就農者研修委託料190,000
予算額 歳出 計	1,150 千円	34,199 千円	32,578 千円
歳入 特定財源	千円	30,885 千円	30,885 千円
歳入 一般財源	1,150 千円	3,314 千円	1,693 千円
歳入 計	1,150 千円	34,199 千円	32,578 千円

5 担当者評価 Ⓒ

☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	成果内容	
問題点		

6 担当部長及び担当課長評価 Ⓒ

☞ 担当部長・課長で協議のうえ，評価してください。

事務事業の方向性

□拡充 □現行どおり □縮小 □休止・廃止

評価理由

8 財務アドバイザーの見解

9 行政改革懇談会（市民）の意見

10 最終評価（行政改革推進本部） Ⓒ

事務事業の方向性

□拡充 □現行どおり □縮小 □休止・廃止

評価理由

11 事務事業の改善理由 Ⓐ

☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

新規就農者を金銭面，技術面等で支援することで就農定着を促し，常総市農業を支える，次世代の担い手農家を育成し，担い手農家に対しては，経営安定や規模拡大を支援していく。
また，新規就農を検討している人や農業法人従業員が新規就農しやすい環境作りに努めていく。